

radio Camnetに続くマガジン版

雲心月性

大槻ワールドへようこそ



Camnet マガジンをお楽しみの方へ。マガジン版「雲心月性」です。元日からの能登半島地震、亡くなられた方々へのご冥福と、地域の復旧、復興を心より祈念しております。大槻は 2021 年度から、岡山県真庭郡新庄村の内科診療所で一人医師として勤めています。ワーク・ライフ・バランスも一層整う感じになって、自然と仲良くしています。



5月の岡山県の「ドイツの森」、ネモフィラが花盛りです。



5月の新庄村、田植えも終わり、好天の日には、写し絵になった情景に気持ちがあごみます。



2023 年の5月、皆生温泉ビーチ（米子市）の週末を中心とした、ひと月半ほどのイベントに出演。ピアノ弾き語りをして頂きました。



この季節は紫陽花～とは云っても、花だけでは、どこの？ って感じですが、これは倉敷市安養寺の境内。ここも紫陽花寺とも呼ばれています。



さて、2023 年の6月に岡山県井原市の平櫛田中美術館、リニューアル後の初訪問でした。このチケットの鏡獅子、今、この地に里帰りしています。



2023 年には新庄村がいせん桜通りの本陣佐藤邸で数回、LIVE をさせて頂きました。SAX の赤田さんとの DUO LIVE の様子です。

このコラムについては、二か月分なのでリアルタイムでは、様子をお伝え出来ませんが、昨年の5～6月の様子をお伝えします。

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。「早く家へお帰り」は、大槻の作詞作曲です。サブスクなどではリリースしていませんが、ネットラジオ「雲心月性」でリンク企画として、5、6月にそれぞれ別バージョンでピアノ弾き語りを行います。

.....

頬に光る雨が
まだ 乾かずにいるよ
ドアを開けたままの
思い詰めた お前の目に
何を 言えばいいのさ
愛は ここにあるよ なんて
そんな気休めなの

薬指を噛んで
ただ 肩を震わせて
カバンひとつ持たず
ボクの部屋に 予告もなく
何が 言ってほしいの
いつも 待っていたよ なんて
そんな慰めなの

熱いミルク飲んで
さあ 気持ちを静めて
ボクの傘でいいね
早く家へ 帰らなくちゃ
何も 言えはしないよ
愛の 夢を見てるならば
早く目覚めなさい

.....
二か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしまっていますが、被災地復興さらに国際平和を祈念しています。

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで

プロフィール 大槻 剛巳（おおつき たけみ）

新庄村国保診療所で内科医師として勤務
0歳：京都府福知山市にて生誕
14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳：倉敷市に転居
15&18歳：NHKあなたのメロディー出演
18歳：YAMAHAポプコン全国大会（諸面の部）出場
20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳：川崎医科大学卒業
以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年：米国留学（医学研究）
1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年：Camnet CH-F(10-19) パーソナリティ担当
2021年3月、川崎医科大学衛生学教授を退官。現在に至る